

**製品名:** テンシン-2 (リン酸化 Tyr483) ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab05543

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	152kDa

## 抗原情報

遺伝子名	TENC1
別名	TENC1; KIAA1075; TNS2; Tensin-like C1 domain-containing phosphatase; C1 domain-containing phosphatase and tensin homolog; C1-TEN; Tensin-2
遺伝子 ID	23371.0
SwissProt ID	Q63HR2
免疫原	ヒトテンシン 2 のリン酸化部位 (リン酸化 Tyr483) 周辺の合成リン酸化ペプチド

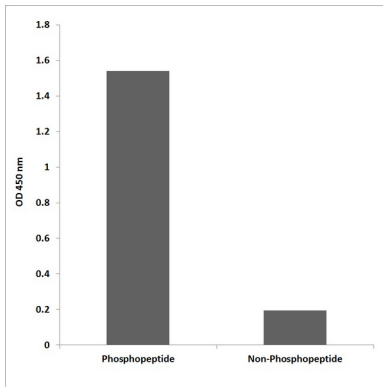
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質はテンシンファミリーに属します。テンシンはアクチンフィラメントに結合し、シグナ

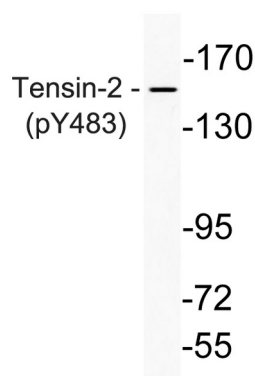
ル伝達経路に關する接着斑分子です。このタンパク質は細胞遊走の調節に關与しています。この遺伝子座では選択的スプライシングが起こり、3つの異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 細胞の移動性と増殖を調節します。ホスファターゼ活性を有する可能性があります。AKT1のリン酸化を抑制します。AKT1キナーゼ活性を低下させ、AKT1シグナル伝達を阻害します。類似性: C2テンシン型ドメインを1つ含みます。類似性: ホルボールエステル/DAG型ジンクフィンガーを1つ含みます。類似性: ホスファターゼテンシン型ドメインを1つ含みます。類似性: SH2ドメインを1つ含みます。細胞内局在: アクチンストレスファイバーの末端で検出されます。サブユニット: AXLと相互作用します。組織特異性: 心臓、腎臓、脳、胸腺、脾臓、肝臓、胎盤、肺、骨格筋、小腸で検出されます。、

## 研究分野

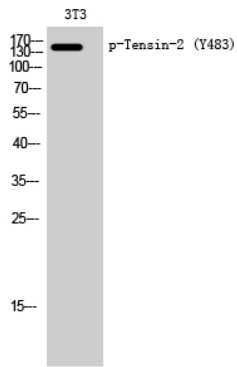
## 画像データ



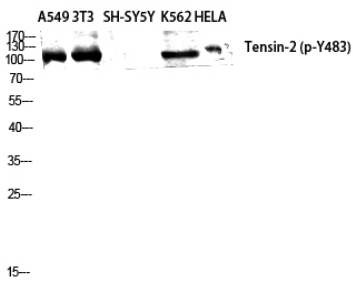
テンシン2 (リン酸化 Tyr483) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



リン酸化スレンシン2 (Phospho-Tyr483) 抗体を用いた K562 細胞溶解液のウエスタンブロット解析。



リン酸化テンシン 2 (Y483) ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた 3T3 細胞のウエスタンブロット解析



リン酸化テンシン 2 (Y483) ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた A549 NIH-3T3 SH-SY5Y K562 HELA 細胞のウエスタンブロット解析